

時間を延ばすと、食べるのが嫌になる

居残り給食で食べるのが嫌いに？



居残り給食とは、クラス全体で「ごちそうさま」をした後も、全部食べるまでは片付けることを認めない指導のことです。

2014年に行われたとある小学生の先生向けの調査によると「こういった指導をいつも行っている」と回答した先生は約10%にのぼります。近年、小・中学校での居残り給食は減っている傾向にあると考えられますが、いまだに保育所などでは行われているケースを耳にします。

⚠️ 食べられないのに食べなければいけない状態が続くと、給食の時間や食べること自体が嫌いになることも多いので注意しましょう。

Q. 食べなくても、片付けた方が良いの？

A. 食べない状態が3分も続いたら、片付けて構いません。

子どもが食べる順番	支援ポイント
1 好きなものから食べる	好きなものだけでお腹いっぱいにならないことが大切です。
2 食べられそうなものを食べる	「見た目」を食べられそうなものにすると手を伸ばしやすいです。
3 その他の気になるものに触れる	遊んでいると思って怒ったりしないことが大切です。
4 まだお腹が空いていたら口に入れることも	食べてみたら？の提案は大切ですが、強制は禁物です。
5 触っても口をつけない・遊ぶ・立ち歩く	この様子が見られたら、片付けても構いません。

食べるのが遅い理由を考えることが大切

食べるのが遅くて、時間内に食べきれないケースもあるかもしれません。その場合は、「どうして、この子は食べるのが遅いのかな？」と、食べるのが遅い理由を考えることが大切です。「理由を考える」というプロセスを経ることによって、子どもへの対応はより良いものになっていきます。

食べるのが遅い理由の例

- ・口腔機能の段階に合わないものを食べている
- ・歯列や骨格の問題
- ・イスやテーブルが合わず姿勢が崩れている
- ・使っている食器に触れた感覚が気持ち悪い
- ・メニューの中に食べられるものが少ない
- ・生活リズムの問題（お腹が空いていない）
- ・精神的な問題や体調不良
- ・集中できない環境になっている…etc

